

復興への確実な一歩を。

政治がいまできること、これからやるべきこと

中央区議会議員 石島ひでき



「東北関東大震災」で亡くなられた多くの皆さま、避難所生活を余儀なくされている皆さまに、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

マグニチュード9.0の大地震と大津波、そして「福島第一原子力発電所」の事故による未曾有の大災害が日本を襲い、世界中が震撼しました。

一、〇〇〇年に一度といわれる大津波は、「予想をはるかに超えた」規模とスピードで東北沿岸部に壊滅的な打撃を与えました。失われた尊い命と行方不明の方は二八、〇〇〇人を超え（3月31日現在）、「原発」は制御不能な状

況に追い込まれました。「放射能漏れへの恐怖感」は被災地はもとより、日本を越えて世界を巻き込んでいます。

この大震災は、私たちの暮らしに大きな影響を与えました。一つは電力不足による「計画停電」です。昨年の猛暑時におけるピークの電力需要は六、〇〇〇万KW／日であり、現在の東京電力の供給能力は三、八〇〇万KW／日で、約37%足りません。仮に夏までに、休止中の火力発電所の運転が間に合ったにしても、約20%近く、一、〇〇〇万KW／日の不足が見込まれています。

中央区においても、計画停電が実施されれば、病院やごみ処理場などの大切な施設が機能マヒを起しかねません。交通信号が止まってしまったら交通マヒも発生するでしょう。会社や商店や個人宅の冷房も制限を受けるでしょう。お年寄りや子供たちや病気で苦しんでいる弱い立場の人たちほど厳しい環境にさらされてしまいます。

どうしてこんなことが起こったのか。最大の要因は、東京電力一社だけが電力供給を行っている現在の独占体制にあると思います。独占企業に何かあれば全てストップしてしまう現体制を改め、電力の自由化を早急に進

めるべきです。ソーラー発電やバイオ燃料発電、風力や地熱発電、さらにごみ発電など代替エネルギーの普及にも努めるべきです。

公共施設はもちろんのこと、私たちの暮らしでできる「節電」をすることは重要ですが、現在の電力はかりに頼る都市の生活様式も、一度立ち止まって考え直すべきです。エネルギー大量消費のライフスタイルを見直すべき時だと思えます。

「原発事故」による放射性物質漏れも大変心配です。大気中に拡散した放射性物質は、雨で地上に降りて、野菜の出荷停止や「生活水汚染」問題を引き起こしました。もし大量の放射性物質が海洋に漏れ出たら、日本ばかりでなく世界の漁業に大変な被害を与えてしまいます。何としても食い止めなければ、日本の国際的信用は失墜してしまいます。

いま「政治」こそ、全ての国民から「信」を問われています。「政治家一人ひとりの行動」が試されているのです。

「原発事故」による放射性物質漏れも大変心配です。大気中に拡散した放射性物質は、雨で地上に降りて、野菜の出荷停止や「生活水汚染」問題を引き起こしました。もし大量の放射性物質が海洋に漏れ出たら、日本ばかりでなく世界の漁業に大変な被害を与えてしまいます。何としても食い止めなければ、日本の国際的信用は失墜してしまいます。

自粛すべきと思われる活動



「原発事故」による放射性物質漏れも大変心配です。大気中に拡散した放射性物質は、雨で地上に降りて、野菜の出荷停止や「生活水汚染」問題を引き起こしました。もし大量の放射性物質が海洋に漏れ出たら、日本ばかりでなく世界の漁業に大変な被害を与えてしまいます。何としても食い止めなければ、日本の国際的信用は失墜してしまいます。

東北関東大震災義援金ご協力をお願い

日本赤十字社では、「東北関東大震災」の義援金の募金を下記のとおり受付けています。また中央区でも同義援金を下記にてお受取りしています。

● 郵便局での受付

【受付期間】平成23年9月30日金まで

【受付口座】郵便振替（郵便局窓口で取扱の場合、送金手数料は無料）

口座番号：00140-8-507 加入者名：日本赤十字社東北関東大震災義援金

● 区役所等での受付

■区役所本庁舎 7階地域振興課 ■日本橋特別出張所 ■月島特別出張所

※上記の他、中央区では区の主要施設に募金箱を設置しています。詳細については日本赤十字社（www.jrc.or.jp）、中央区（www.city.chuo.lg.jp）のホームページをご覧ください。

人にやさしい、
活力ある
中央区を創る会

www.ishijimahideki.com

石島ひでき

検索